

令和5年度 第2回 (仮称) 図書館中部館建築設計検討委員会
議事録

開催日時：令和5年(2023年)12月25日(月)

午後3時から

開催場所：消防本部(本署) 3階 大ホール

出席者：金子 尚志 【滋賀県立大学 環境科学部
環境建築デザイン学科 教授】
陶器 浩一 【滋賀県立大学 環境科学部
環境建築デザイン学科 教授】
北村 正一 【彦根市校長会 代表
彦根市立稲枝東小学校 校長】
森 将豪 【彦根市社会教育委員 委員長】
富永 美砂穂 【彦根市地域文庫連絡会 代表】
久木 春次 【彦根の図書館を考える会 代表】
木村 正彦 【彦根史談会 会長】
川瀬 修 【元長浜市立長浜図書館 館長】
瀧澤 秀起 【彦根市建設部 副参事兼建築課長】
古川 雅之 【彦根市都市政策部 次長兼都市計画課長】
平井 むつみ 【滋賀文教短期大学 国文学科 教授】(欠席)
村田 恵美 【滋賀県立図書館 館長】(欠席)
北村 みずき 【ひこね児童図書研究グループ 副会長】(欠席)
磨谷 絵美子 【彦根市PTA連絡協議会 事務局長】(欠席)

事務局：教育委員会事務局 前川部長
小島次長
市立図書館 田中館長
広瀬主幹
鈴木主幹
別符館次長
稲垣

受託業者：株式会社 坂茂建築設計 菅井 啓太
成松 佳恵
梶原 慧太

15:00 事務局	<p>皆様、お揃いになりましたので、ただいまから「令和5年度 第2回 (仮称) 図書館中部館建築設計検討委員会」を開催させていただきます。</p> <p>委員の皆様におかれましては、大変、お忙しい中、ご出席を賜りまして誠にありがとうございます。</p> <p>また、先程は、お寒い中、旧ひこね燦ぱれすの見学会にご参加していただき、重ねて、お礼申し上げます。</p> <p>それでは、議事に入ります前に、資料の確認をさせていただきます。</p> <p style="text-align: center;">——資料確認——</p> <p>以上ですが、不足はございませんでしょうか。</p> <p>次に、会議の成立要件について、ご報告いたします。</p> <p>(仮称) 図書館中部館建築設計検討委員会設置要綱第6条第3項の規定により、会議は委員の半数以上が出席しなければ、開くことができないことになっていますが、本日は、委員14名の内10名のご出席をいただいておりますので、会議が成立していることをご報告申し上げます。</p> <p>それでは、ここからの進行につきましては、委員長をお願いいたします。</p>
委員長	<p>先程は、燦ぱれすの見学にお立会いいただきまして、ありがとうございました。</p> <p>事務局、業者様におかれましても、色々、ご準備をされたと思いますので、今日、この後、資料をもとにご説明をお願いいたします。</p> <p>雪の予報もありましたが、天気のいい中、将来の様子を掴んでいただけたのではないかと思います。</p> <p>今日は、模型もご用意いただいております。</p> <p>後程、ご説明があるかと思いますが、先程、ご覧いただいた</p>

事務局	<p>様子と合わせてご覧いただきますと、より一層、これからできる図書館のイメージが湧いてくるのではないかと思います。</p> <p>今日も少し長い時間になるかと思いますが、よろしく願いたいと思います。</p> <p>まずは、次第の「2 議事等」に進みたいと思います。</p> <p>最初に、「(1) 第1回のふりかえり」について、事務局から説明をお願いします。</p> <p style="text-align: center;">———説明———</p>
受託業者	<p>図面ベースで、説明させていただきます。</p> <p>前回の委員会の時に、入口と駐車場との関係、アリーナと図書館との関係が、図面が小さくてわかりにくかった為、今回、広域の図面を用意しています。</p> <p>1 ページ目の左側が、アリーナも含めたこのエリア全体の配置図になります。</p> <p>右側にアリーナの駐車場（工事中）があり、上側に図書館の駐車場約80台があります。</p> <p>アリーナは下側に位置しているのですが、すぐ近くに駐車場があるわけではないというのが、これを見るとわかります。</p> <p>駐車場の使い方を図書館とアリーナで、どのように融通させていくか。</p> <p>イベント毎の対応とか、その辺については、まだ彦根市と細かい話はできていないのですが、彦根市の方で方針は考えていくと伺っています。</p> <p>右側の図面が図書館の駐車場、くすのき通りからの歩行者、自転車の動線を示した図になります。</p> <p>図書館の駐車場は上側にあり、車いす使用者用駐車場は（駐車場の）右下に計画しております。</p> <p>図書館の入口が真ん中の右端辺りになっていて、そこまで車いすで、極力最短で行ける計画になっております。</p> <p>駐輪場を車いす使用者用駐車場の左下側に計画しています。</p> <p>あまり建物の正面に駐輪場が来るのは良くないということで、少し奥に入れた所から、入口にアクセスできるようになっています。</p> <p>アリーナの方からは緑色の線のとおり、入れるようになって</p>

ています。

車いす使用者のアプローチとして、アリーナ側と駐車場側の両方にスロープを付けたので、段差なく建物内へアクセスできるようになっております。

全体の細かな変更点は、前回の図面と比較したものがありませんので、そちらで説明します。

少し図面を飛ばして、5ページ目を見てください。

左側が第1回委員会の時にご提示した図面になります。

右側が2ページの図面にコメントを加えさせてもらったものになります。

前は入口が正面のガラスファサード側しかなかったのですが、駐車場からのアクセスというご要望をいただいて、屏風スクリーンを既存の建物から少し離しています。

ここに入口を設けて、車いす使用者用駐車場や一般の駐車場からの動線としています。

この入口にあたる風除室は、北側と南側の両方からアクセスできるようになっていて、風除室から閲覧ラウンジへ行けるようになっています。

この点が入口周りで大きく変更しているところになります。

続きまして、前回の委員会時に2階に上がる階段がエレベーターの横にあって、入口（建物玄関）から少し遠い位置にありました。

なるべく入口（建物玄関）に近い、わかりやすい動線計画とする為に、入口（建物玄関）から入ってすぐの右側に位置を変更しております。

こちらから階段で2階に行けます。

エレベーターも、乗場を入口（建物玄関）側に向けて配置しています。

図書館との打ち合わせの中で、上の親子ラウンジの出入りのことも考えて、少し向きを変えようという話があって、検討中です。

ブックポストは、前回、通用口側と（建物玄関）入口の三角形になったところの2カ所あったのですが、わかりにくいという話もあり、ブックポストはメインエントランスだけに設け、ブックポストと事務室が背中合わせにつながっている形となっております。

次、6ページに移ります。

一般開架室ですが、前回の図面では、個室の閲覧室が南面と西面の2面に並んでいる状態でした。

書架についても整然と並べていて、休憩スペース等が図面上表記されていない状態でした。

今回、図書館と打ち合わせを重ね、休憩スペースや書架の幅、高さ、そういったものを詰めました。

まず、個室の閲覧室、ガラスで完全に囲まれたスペースというのは、図面上、一般開架室の左上の5席に限定しています。

そこから下は、背中是完全に開いているのですが、横は仕切られた閲覧席が並んでいます。

南側は、個室の閲覧席をやめて、ベンチと新聞の閲覧席を計画しております。

全体の書架の冊数ですが、一般開架7万冊というのを算定しつつ、書架と書架の間に閲覧スペースを設けて、少し余裕を持たせています。

閲覧ラウンジから一般開架室に入ってくる出入口ですが、出入口らしい設えをした方がいいと思っており、書架を無くして、広いスペースを設けています。

それと、現状、天井の高いホール部分と閲覧コーナーのスペースを、廊下を挟んでつなげているわけですが、なるべく一般開架室とレファレンスコーナー等がある個室を一体に使えるように、前回は、端に開口を設けていたのですが、真ん中に大きな開口を設けることで、一般開架室とつながった様にできないかと考えております。

グループ閲覧室を2室設けていましたが、図書館との打ち合わせの中で、グループ学習室として、6人ぐらいが入れる部屋が1つ。

それと、対面朗読室を1つにしております。

図書館との打ち合わせの中で、YAコーナーを何処に設けるか、色々な案が出ていたのですが、2階にあったり、1階のこの細い部分だったり。

なるべく、まとまって計画することを考え、②通りと③通りの間の部分に設けております。

書架と書架との通路幅ですが、現状の彦根市立図書館は、比較的ゆったりしています。

現地（彦根市立図書館）を司書と見て、これぐらいだと広

い、狭いというのを実際の物を見て判断し、車いすと人がすれ違うことができる書架間スペースとして、1,680mmで計画しています。

1階の主な変更点というのは、以上になります。

次のページに行きます。

7ページ目が2階の計画(平面図案)になるのですが、2階は子どもたちの本のスペースになっています。

図面上右にあるおはなしの部屋やキッズコーナーの扱いをどうするか。

おはなしの部屋は、朗読会のようなことをしている時は、本を取りに来ることができないといった話があったので、書架を置かない計画としています。

完全に一つの大きな部屋になっているのですが、そこまで大きなスペースは必要ないということで、半分のスペースで計画しています。

児童開架スペースのサブカウンター裏は、職員の方が待機できるスペースとして設けております。

サポーターズルームは、大きなスペースを取っていますが、サポーターズルームと書類置きスペースを合わせているためです。

今後、サポーターズルームに必要なスペース、倉庫的に使うスペースや給湯を計画したいと思っています。

親子ラウンジの使い方は、このスペースが目玉的なスペースになるのではないかという話があり、このスペースでお母さんと子どもがリラックスして本が読めたり、子どものためのちょっとしたイベント等に使えるといいといった話が出ています。

外周に机を置いて、真ん中に書架を置くような配置ですが、これから、まだ、もう少し使い方について詰めていくような段階です。

全体的に、前回の図面と新しい(今回の)図面を比較して、変更点を見ていただくといいかと思えます。

(5ページ)バックヤードは、集密書架をコンパクトにまとめています。

続きまして、次第の「(2)ルーバーファサードについて」、併せて、説明させていただきます。

今回、特徴になっている屏風ファサードと呼んでいる木の

壁とガラスが交互に出てくるような外装ですが、(日照時間に係る)シミュレーションをしてみました。

10月17日(第1回目の委員会)にご提示している架構形状というのが、夏至、春分・秋分、冬至と中段に3つ並んでいます。そこから改善したものが、今回、ご提示している(下段の)架構形状となっています。

違いがわかりにくいのですが、白い部分は光が入ってきている状態です。

左側の夏至を比べていただくと、今回、提示しているものは、光をより遮蔽できており、春分・秋分も、遮蔽できていることになっています。

これが、どういった違いがあるかというのをご説明します。

この図面の真ん中上に、点線があると思います。

この点線は梁を示してまして、ハニカムビームと呼んでいる梁を表しています。

東西に向けて梁を流しています。

今回、ご提示している案は、既存の建物に対して、45度方向に架けています。

この45度方向というのは、10月17日(第1回目の委員会)の架構に比べると、梁の長さが短くなります。

どちらかという、構造の要件から検討を始めてみたのですが、45度の方が光を抑えるといった結果が出ました。

構造的にも効率がいいですし、光のコントロールに対しても効果があるということがわかりました。

そのため、45度方向で検討を始めております。

これが増築部分の光のコントロールについてまとめた書類になります。

次の9ページ目は、図書館との打ち合わせの中で、この部屋はこういうことが大事だといったものをまとめた諸元表になります。

基本設計で性能を決め、実施設計でその詳細図をまとめることになります。

今回、皆さんへお渡ししている資料(の中)にはないのですが、もう1つ資料を作ってきました。

児童開架スペースの配置に係る検討書になります。

3つ並んでおります。

左側が、今日、ご提示している案です。

<p>委員長</p>	<p>1階に一般開架と閲覧ラウンジ。 2階に児童開架、北東側にまとめました。 児童開架を1階に配置できないかというお話があり、検討しました。</p> <p>(真ん中、検討案A) 児童開架を1階の北西部分に固めた場合、どうしても、一般開架が南側の部分と2階に分かれます。特に2階は、既存壁の抜きにくい部分がありまして、そうすると、一般開架が部屋単位で分かれてしまう結果となっています。</p> <p>もう1つ、児童開架と一般開架の両方を満たす方法はないかと考えたのが、右側の(検討)案(B)です。</p> <p>児童開架は、事務室を計画している部分のほとんどを使って、この図面上の右上に計画しています。</p> <p>一般開架は、ほとんど変わらない計画になっているのですが、開架ラウンジの入口部分から児童開架、カウンターがどんどん奥の方になってしまう。</p> <p>どうしても(外部から)搬入するスペース、物流スペースはこの場所がないと困るので、事務スペースを最小限にしてみました。</p> <p>そうすると、2階のほとんどが事務室、会議室も含めて、バックスペースとなり、2階自体にほとんどのお客さんが来ることがないような状態になってしまう。</p> <p>まとめられるのはいいことですが、事務室自体の確保がなかなか難しいという結果になりました。</p> <p>そういったこともあり、1階に児童開架を配置するのは、図書館としての使いやすさを考えると難しい。</p> <p>逆に児童開架へ行くまでに、階段やエレベーターを使って、大変、というのはあるのですが、児童開架に吹き抜けのあるオープンスペースがあったり、囲われた感じのスペースがあったりと、やはり、今の案の方がいいと思っています。</p> <p>こちらからは以上になります。</p> <p>ありがとうございました。</p> <p>次第で言いますと、(1)、(2)のところまで同時に、ご説明いただいたと理解いたしました。</p> <p>「(1) 第1回のふりかえりについて」という資料1では、意見に対して回答ということで、一問一答といった形でまと</p>
------------	---

	<p>めていただいています。</p> <p>30までありますが、建築の空間ですので、1対1で見に行くよりは、総括的に、どのような変更があったかということでご説明いただいたのかと思います。</p> <p>次第の「(2) ルーバーファサードについて」のところでは、先程、シミュレーションされたということで、お話いただいています。</p> <p>児童開架の構成(配置)についても、資料(の中)にはないですが、今日、議論していただいて、様子を見て、共有ということによろしいかと思います。</p> <p>(スクリーンに)映していただいて、色分けをしていただいていますので、非常にわかりやすい。</p> <p>どういう違いがあるのか、委員の皆様にも、ご検討、ご判断いただくのにも、とても良い資料になっているかと思います。</p> <p>ご説明にあったとおり、やはり児童開架をいじり始めると、全体が、いろんな機能が分断されてしまうのかなというのが、今の印象ですが、後程、ご意見いただければと思います。</p> <p>次第(1)と(2)を併せてご説明いただいたということで、ここからは、ご意見をいただくという形で進めてまいります。</p> <p>模型をご用意していただいているので、ご意見いただく前に、少しお時間いただいて、模型に近づいて、(受託業者より)ご説明を受けた上で、その後、ご意見をいただければと思います。</p> <p style="text-align: center;">———模型を囲んで説明———</p> <p>ここからは、追加でご意見をいただきながら、進めてまいります。</p> <p>前回、外観のハニカムビームの接合部についてどうするか、が課題とおっしゃられたと思うが、これについては初めてのことであればある程、天災に立ち向かえるように、ご検討いただいて、もし、そういったことも決まりましたら教えていただきたい。</p> <p>現状報告させていただくと、木材加工メーカーさんと、どう</p>
委員長	<p>ここからは、追加でご意見をいただきながら、進めてまいります。</p>
委員	<p>前回、外観のハニカムビームの接合部についてどうするか、が課題とおっしゃられたと思うが、これについては初めてのことであればある程、天災に立ち向かえるように、ご検討いただいて、もし、そういったことも決まりましたら教えていただきたい。</p>
受託業者	<p>現状報告させていただくと、木材加工メーカーさんと、どう</p>

<p>受託業者</p>	<p>いう風に切り出していくか、どれくらいの厚みの物で、どれくらいの刃物で切っていくか、といったことを話しています。</p> <p>1社だけでなく、複数社聞いています。</p> <p>加工する業者によって違うのですが、できるというお話しはもらっています。</p> <p>現状としては、そのぐらいの話になります。</p> <p>接合というのは、柱と梁のところですかね。</p> <p>技術的な話にはなるのですが、プロポーザルの時は、柱の上に梁が乗るような形だったのですが、なるべく、そこはシンプルに。</p> <p>そこを複雑にすると、いろんなことが難しくなってしまいますので。</p> <p>今は、単純に柱を伸ばして、そこに横から梁がつながる様な形にしています。</p> <p>そうすることで、柱が上まで行くので、しっかりとした構造ができる。</p> <p>今回、なかなか難しいのが、非常に細長いけど、薄い柱で、このファサード、表の顔を作っていくという。</p> <p>ここは、構造の難しいところで、まだ、完全に解決したわけではなく、色々な、どういう、つなぎ方がいいかというのを検討しています。</p> <p>方針としては、できるだけ単純に作っていくのがいいということで、引き続き、検討しております。</p>
<p>委員</p>	<p>初めての構法で、皆さん、着目されますし、将来的な直下型の地震となりますと、前回も申しましたが、そういったことも想定した上で、万が一にも変なことが起こらないように。</p> <p>できるだけやっていただけたらと思います。</p> <p>たくさんの方が集まる場所ですので。</p> <p>よろしくをお願いします。</p>
<p>受託業者</p>	<p>はい、承知しております。</p>
<p>委員長</p>	<p>引き続き、検討ということで。</p> <p>その他、いかがでしょうか。</p>

委員	<p>燦ぱれすが、こんないい風になるんだと思うとうれしいです。</p> <p>この間の提案の時から閉架書庫がなくなって、1つだけになっています。</p> <p>今の図書館でも、頻繁に司書さんたちは、書庫に本を取りに行っておられます。</p> <p>可動式の書庫なので、数人、本を探すところが一緒であれば、その度、動かしながら探すのですよね。</p> <p>書庫が減り、1つになっていると、本の書架の間隔が狭くなったり、複数の人が書庫の本が必要な場合、対応できるのかなと思ったのですが。</p>
受託業者	<p>今、図面に書いてある書庫で、5万冊用意できていまして、それぐらいあれば量的には大丈夫だということで、図書館と話し合って決めました。</p> <p>前回の図面は、図書館の事務室の机のサイズを、一般的な机のサイズで描いていました。</p> <p>実際に、市役所で使っている机を確認すると、このスペースでは厳しいというところと、作業するスペースが欲しいというのがあり、事務室、作業スペース込みで、この3スパンとしています。</p> <p>その兼ね合いで、閉架書庫は5万あればいいということで、このスペースに収めています。</p>
委員	<p>スペースが限られているので、本当に仕方がないなとは思いますが、ぎゅうぎゅうで5万冊入ったとしても、いろんな人がリクエストして、取って来てと言われる度に場所が違っていると、書架をガラガラと移動しながら、そこから本を出すということなんですよ。</p> <p>すごく手間がかかって不便。</p> <p>場所が無いから仕方がないと言われればそれまでですが、今の図書館の司書たちが上に取りに行かれる様子を見ていて、本当に頻繁に行かれる中で、人が取り終わるのを待っていて、次また動かすと思うと、これは大変だなと思ったので。</p>
受託業者	<p>我々よりも図書館さんからお話していただいた方が良くもしいないです。</p>

事務局	<p>富永委員が言っていたに、今の書庫は中央が固定書架で、両脇が集密になっています。</p> <p>この図面を見ていると、1か所だけ開いて、好きなところから入れないというのではなくて、たぶん2、3カ所回せば、同時に取れると思うので。</p> <p>書庫が多いに越したことはないのですが、その辺は、今も変わりませんので、ある程度、対応はできるかなと思っています。</p> <p>今、作業台の話が出ていましたが、(図書館の)中での話しでは、物流スペースに車が入らないのであれば、ここも作業台として置けるのであれば、集密ではなくて、固定の書架を少し置いて、雑誌のバックナンバーですとか、新聞のバックナンバーですとか、そういった物を置くスペースがあると、集密書架との性格分けができるので、そういう案もあってもいいのかなという話をしています。</p> <p>ちょっと横道に逸れましたけど。</p> <p>限られた場所ですが、何カ所か開けられますので、1人が取っている間待っていないとダメということにはならないかなと思っています。</p>
委員	<p>これからの図書館のことを考えますと、本という物理的な媒体で残すという、それを参照するというだけでなく、デジタル化されたものを見る機会が、どんどん増えてくるものですよ。</p> <p>そうすると、2階の投影装置があった部屋が、事務室や倉庫になっていますけど、何処かで、そういうようなことができるような所を考えておかれるのも、これからの利用について、いいのではないかと思います。</p>
委員長	<p>今、ご意見があったところでの、ご対応について、現時点でお持ちであれば、お答えいただけるといいかと思いますが、いかがでしょうか。</p>
受託業者	<p>デジタル閲覧スペースはどこかで取ることを考えたいと思います。</p> <p>一方で、どうしても倉庫スペースというのは、こういう施設</p>

<p>委員長</p>	<p>に必要なので、おそらく、サポーターズルームが広いので、この部分がそういったスペースになってくるのかなと考えております。</p> <p>先程の書架のお話ですが、十分に機能的になっていると。そもそも、設備が機能的になっているので、取り出しに関しては、並行しながらできるという。</p> <p>ゆくゆくは、他の部屋を書庫にという様なことも対応できるといったお話だったかと思います。</p> <p>皆様、ご理解いただければと思います。</p> <p>その他、いかがでしょうか。</p>
<p>委員</p>	<p>今日を楽しみにしていました。</p> <p>(旧燦ばれすを) 実際に見せてもらい、どういう風な中なのかということ。</p> <p>図書館の方には、(見学会の) 時間を取っていただいて、ありがとうございます。</p> <p>私からは、まずは1点、お願いしたい提案があります。</p> <p>先程、児童開架の位置を変えていただいた3つの(資料)。</p> <p>私としては、1階に児童開架室を持ってくるという。</p> <p>図で示してもらっているのですが、よくよく考えてみますと、円形の部分、図書館の外側に、新しく大きなスペースを増築部分として、非常に大きなスペースが取れるということを実感に見て、実感しました。</p> <p>図面の方で、1階部分のラウンジですとか、展示コーナー、雑誌とか、いろんなコーナーを作っていただいているのですが、1つは、ここにこれを作るというのが、コンセプトと言いますか、日頃馴染みのない方も、ゆったりスペースで読書ができるという、そういうメリットは、十分考えられるのですが、それにしては、1階部分が、ちょっとがらんとしていて。</p> <p>やはり「図書館」として、ある程度の密度をもった構造にしようと思えば、あそこの部分に、児童開架室を下ろしてくるとい。</p> <p>今回、設計事務所の方で提案された、中2階と言いますか、出っ張った部分、あの部分にこそ、(閲覧) ラウンジを。</p> <p>これからの新しい図書館は、こんな風にできますよというのを、全然目線の違うところで、本が見られて、そこで、ゆっ</p>

	<p>たりできる。</p> <p>そういう部分を、2階の方に上げてみてはどうかなど。</p> <p>そうすると、児童開架室を下げることによって、1つはバリアフリーと言いますか。</p> <p>いろんな方が、乳幼児を含めて、親子が来られる、その方をわざわざ2階へ上げる必要が果たしてあるのだろうかと思います。</p> <p>1階部分で、図書館というのが完結されるような流れができるのではないかと。</p> <p>2階部分に、新しい図書館利用者を誘い込むような仕掛け。それが、ラウンジスペースではないかなと。</p> <p>もう1つは、私も市長さんと、1度、話をしたことがあり、壁面に本を並べると聞いているのですが、2階のキャットウォークを利用することで、そういう風な、新しい利用者の目線が、今までの図書館とは違うような感じで見えてくるのではないかと。</p> <p>それが、本離れといわれるものの、そういう風なことを含めて、図書館になんとか人を入れ込むと言いますか、利用者を増やしていく、これからの図書館のテーマではないかなと思います。</p> <p>もう一点ですが、一般開架室の構造ですが、やはり、専門図書的な本の並びにされているのではないかという気がします。</p> <p>図書館ですから、もう少しゆったりした部分を。</p> <p>今回、一般開架の中にも、そういう場所を取っていただいているのですが、専門的な書架の並び方かなと。</p> <p>もう少しゆったり。</p> <p>図書館ともお話されるかと思いますが、その辺りの工夫もほしいなど。</p> <p>閲覧室が個室になっているということですが、個室が必要なのかということも、検討してもらえるとありがたいです。</p> <p>委員長 受託業者</p> <p>今のご質問に対して、ご意見をお願いします。</p> <p>まず、児童開架ですが、閲覧ラウンジと書いているオレンジの部分に、児童開架を置いてしまうと、どうしても吹き抜けの天井の高い所に、本来、天井の高さが要らないスペースが来て</p>
--	--

	<p>しまうということ。</p> <p>それと、ここが入口で、ここを經由して、一般開架に行ったり、児童開架に行ったりというような、ちょうどエントランスホール的なスペースでもあるかと思います。</p> <p>どうしても、児童開架に行くまでにワンクッション、こういう閲覧ラウンジというスペースが必要なのではないかと。</p> <p>入口近くに、児童開架を置くというのがあるのですが、やっぱりワンクッション置いた方がいいのではないかと考えています。</p> <p>どうしても、1階に児童開架を置くと、事務スペースが、ほぼ2階になってしまうというのがあって、入口近くにカウンターだけあって、事務の方が、そこから事務スペースに行く動線とかが、やりとりがしにくいのかなと、こちらは思っています。</p> <p>次に、いただいた一般開架のお話ですが、一般開架は、今の彦根市立図書館の書架の間隔と、非常に近い形で配置して見まして、図面で見ると狭いように見えるのですが、今、皆さんが使っている机よりも、若干、短いくらいで、割とゆったりしているかと思っています。</p> <p>書架の高さが、高くなっていけばいくほど、おしゃっていたような専門的な閲覧室という感じになるかと思うのですが、今、なるべく間隔を空けて、書架も抑えてというのを、図書館とやっているのです。</p> <p>どうしても、図面上、ここは閉じられたスペースに見えるのですが、窓は少ないですが、今の図書館に近いような形と、こちらは思っております。</p>
委員長	<p>個室に関しては？</p>
受託業者	<p>個室に関しては、ご説明したことが伝わっていなかったかもしれないですが、この5席だけが個室になっております。</p> <p>ここは、今回、図書館にCDとかDVDを置くという話があり、ここで鑑賞できるスペースとして使えるように、5席だけ置いてあります。</p> <p>その下に書いているのは、机としては、ずらっと並んでいますが、横との視線をカットする仕切りがあって、後ろは完全に開いている所なので、どちらかと言うと、長い机に仕切りをし</p>

	<p>ているようなものになります。</p> <p>南側に関しては、そういう席はないので、この部分が、1人で机を使うスペースになっています。</p> <p>前回、委員会の中で話題になって、お話が出来ていなかったのですが、現状の閲覧席の数ですが、個別のドアあり5席、ドアなしが14席、書架の横に設けた閲覧席40席など、席数としては、全部で114席になります。</p> <p>今(の図書館)が70席位なので、1.5倍くらいの席数を確保しております。</p> <p>今、ご指摘のあった児童開架を1階にというのは、確かにそうだなと思って、冒頭から伺っていたわけですけど、ラウンジに入って、小さい子どもたちが、そこで本を読んでいるという姿は、彦根の将来ということを考えても良さそうだなと思った一方で、今回、配られています、広報ひこねの2ページ目のところの外観パースですが、これを拝見すると、非常に特徴的な2階の閲覧ラウンジ、この形、なんとなく遠い昔、自分が子どもだった頃を思い返して、ここへ来たらどこへ行ってみたいかと考えた時、やっぱり、ここへ上ってみたいんじゃないかなと。</p> <p>子どもたちが来た時に、この上で時間を過ごしてみたいと思うのかなと、このパースを見て、感じた次第です。</p> <p>子どもの好奇心。学習が最大化するのは、好奇心を持って臨む、という事を考えた時に、確かに2階の閲覧室は素晴らしい空間なのかな、と思いますので、2階に児童コーナーというのもまた素晴らしいアイデアなんじゃないかな、という風にも思いました。</p>
委員	<p>前回、バリアフリーで、誰にも優しい図書館ということで、エントランスが駐車場に近くなり、経路もすっきりされていて、非常にありがたいなと思いました。</p> <p>今、おっしゃっていた様に、わくわくする図書館。</p> <p>子どもたちであれば行ってみたいな、完成が楽しみだなとこの絵を見て思っていると思いますし、私自身は、2階の児童の書架スペース。</p> <p>この様に、集約されていて、そして、また、絵本の読み聞かせスペースがあったり、それを聞く部屋があったり、トイレも</p>

	<p>近くにあると。 本当に使いやすい。 子どもたちに、優しいスペースを設計していただいている など感じました。</p> <p>エレベーターの位置とか、エントランスに入っの階段の 位置も、2階へ行ってみたいなど誘う仕掛けがあるようで。 エレベーターも、2階へ早く行きたいなどという気持ちにな るように、エントランス向きの方がいいと思いました。</p> <p>また、一般開架室の入り口も、YAコーナーとレファレンス コーナーとうまく広がって、つながれるような道の工夫がさ れているということで、ここもバリアフリー、大事なところじ ゃないかと思います。</p> <p>先程、聞かせていただいた、デジタルコーナーの閲覧席が個 室であつたり。</p> <p>様々に休憩しながらも、色々な方が見られる場所が、しっか り配置されているという部分では、優れているなど思ってい ます。</p> <p>ただ、来られる方が、益々、人気が出る図書館であろうと思 いますし、外の駐車場の枠を見ますと、向こうの（駐車）ス ペースを拡大されていますが、まだまだ、不足する部分が心配だ など。</p> <p>第2のそういった部分（駐車場）も、今後、課題になってく るのではないかと見ておりました。</p> <p>全体的によく練られて、利用者のことを考えられた設計だ と思っています。</p> <p>ありがとうございました。</p>
委員長	<p>ありがとうございます。</p> <p>具体的なお質問ということではありませんけど、非常に丁 寧なお感想をいただいたと思います。</p> <p>その他、ご質問。ご感想でもいいかと思ひます。</p>
委員	<p>2階のキッズコーナーというのは、資料の9ページでは「幼 児向けの本の置いてある部屋」となっていますが、絵本という ことで理解させてもらって良いでしょうか。</p>
受託業者	<p>——— 頷く ———</p>

<p>委員</p>	<p>絵本ということで、おはなしの部屋とセットになるのですが、2階へ上がって、絵本が一番奥にあるというのは、感じとして、どうなのかなと思いました。</p> <p>それと、ブックポストですが、外側で駐車場から遠い所にあるので、通常、使われるとなると、道に（車を）停めて、ブックポストに返されると思うのですが。</p> <p>そういったことでの心配があつて。</p> <p>要するに、路上に車を停めてそこまで行けるということが良いのかということと、ブックポストの上に庇が無いので、袋から出して、ブックポストに入れる時に雨に濡れます。</p> <p>例えば、北風とか雪とかでも、そういったことを考えて、何らかの対応をしていただく方が良いのかなと。</p> <p>あと、ここまで図面を詰めておられるので、細かいところは図書館職員との打ち合わせになると思うのですが、雑誌タイトルが108タイトルとなっていますが、地域誌ですとか、官公庁が出している刊行物ですとかもありますし、最初から108と限定しないで、将来的なことも考えて、余裕を持っていたいただければと思います。</p> <p>あと、これも職員との話し合いになるかと思いますが、区切りなしの長いカウンターになっています。</p> <p>例えば、利用者さんに呼ばれてフロアに出る時に、非常に出不くということが考えられますので、もう少し区切った方が良いのかと思います。</p> <p>最後に、もう一つだけ。</p> <p>YAコーナーを奥の部屋に持っていかれていて、図面の書架から考えると、たぶん、5千冊くらいを考えておられるのかなと思うのですが、棚に囲まれて、そこに机があつて、「部屋」という感じなので。</p> <p>彦根市の図書館が、どういうヤングアダルトサービスをして、10代の子ども達に、そこに来てもらうのか、もう少し工夫、おもしろさ、興味、関心が持てるようなものがあればいいのかなと思います。</p> <p>ここは、子どもたちが建物に入ってから遠いのですが、隅っこの方が良いのかなという気もしますし、この辺ももう少し考えてもらえるといいのかと思います。</p> <p>いくつもので、申し訳ないですが。</p>
-----------	--

<p>委員長</p>	<p>貴重な、具体的なご意見でした。 これに対して何か。</p>
<p>受託業者</p>	<p>貴重なご意見なので、設計の中で、司書と一緒に盛り込んでいきたいと思います。</p>
<p>委員長</p>	<p>他に、ご意見、ご質問等はいかがでしょうか。</p>
<p>委員</p>	<p>1点だけなんですけど、この資料1ページの図面、プロシードの方で残念なことがあったんですが、図面下の身障者用の駐車場に上屋を建てようかと、色々、検討していたのですが、建屋がプロシードと離れていたのので、それができなくなっています。</p> <p>今回、車いす用の駐車場を2台予定されているのですが、これは、建屋からも近く、今、工夫していただいたので、(図書館)入口が駐車場からの導入ということで、入りやすくなっております。</p> <p>この車いすの駐車場の建屋と、庇がたくさんあった方がいいというご意見も、先程、ありましたので、その辺り、うまく工夫しながら、身障者用の上屋ができないかなと、今、思ったところです。</p> <p>費用もかさみますので、一度、検討していただければ、ありがたいです。</p>
<p>委員長</p>	<p>バリアフリーのところから、アプローチするまでということだと思います。</p> <p>ご検討いただければと思います。</p> <p>その他、いかがでしょうか。</p>
<p>委員</p>	<p>資料の8ページ、外壁ルーバーの配置に伴う日照時間のシミュレーションをしていただいている関係ですが、プロポーザルの提案の中で、環境に配慮して、省エネルギー化を図ることで、建物の省エネ指標の一つであります、ZEB READY (ゼブ レディ)の取得を目指すことが、掲げられていたと思うのですが、その意向というのは、現在も変わらないと考えてよろしいでしょうか。</p>

<p>受託業者</p>	<p>ZEB READYが達成できるかということはまだ明言できないのですが、そういう方向で、やれることはやっいてこうと思っています。</p> <p>先程、太陽光の話があったのですが、NEARLY ZEB (ニアリー ゼブ) は、全く難しそうなのですが、どこまでいけるかというところは検討します。</p>
<p>委員</p>	<p>もし、ZEB READY (ゼブ レディ) の取得に向けて動いていただいているということでしたら、環境省の方で、補助の制度もあるかと思しますので、それも含めて、ご検討いただければなと思います。</p>
<p>受託業者</p>	<p>別の物件で、補助金をいただいたのですが、工事のタイミングが、なかなか難しいので、こういう条件を満たさないと補助金は厳しいというところを、彦根市に示しながら進めていければいいかなと思います。</p>
<p>委員長</p>	<p>今の時代にふさわしい、環境への配慮。</p> <p>具体的に、どのくらい削減できているのかというのは、今、必須だと思いますので。</p> <p>ZEB READY (ゼブ レディ) を目指していただきつつ、どの程度の削減ができるのか。</p> <p>補助金の対応についても、検討いただければと思います。</p> <p>その他、いかがでしょうか。</p> <p>よろしいでしょうか。</p> <p>本日は、模型をご用意いただいたので、冒頭で、だいぶ皆様のご理解が進んだという印象を持っております。</p> <p>その上で、口頭でも質疑応答がありまして、時間以上に密度の濃い、議論になったかなという印象です。</p> <p>そうしましたら、その他、ご意見ないようでしたら、ちょうど1時間半終わったところでございます。</p> <p>ご意見が出尽くしたかなと思います。</p> <p>以上とさせていただきます。</p> <p>本日、皆様から非常に貴重なご意見をいただきました。</p>

事務局	<p>冒頭、申し上げましたように、現地をご視察いただいて、模型もご覧いただいたということで、だいぶイメージが固まった中でのご意見だったと思います。</p> <p>今日、いただいたご意見は、事務局で検討していただいて、次回開催時に、対応についてご説明をいただこうと思います。</p> <p>本日、年末お忙しい中、お集まりいただき、ありがとうございました。</p> <p>本日の議事は、これをもちまして、終了いたします。</p> <p>委員の皆様方、お忙しい中、ありがとうございました。</p> <p>それでは、進行を事務局にお返しします。</p> <p>委員長、ありがとうございました。</p> <p>それでは、次第の「3 その他」、「次回の日程について」は、事前に皆様方と日程調整しましたところ、令和6年2月20日(火)の13時から、本庁舎 5階 第2・3委員会室にて開催いたしますので、委員の皆様方におかれましては、ご多忙の中、誠に恐縮ではございますが、ご出席の程、よろしく願います。</p> <p>それでは、閉会にあたりまして、彦根市立図書館長の田中よりお礼の言葉を申し上げます。</p> <p style="text-align: center;">———お礼の言葉———</p> <p>それでは、これをもちまして閉館とさせていただきます。</p> <p>本日は、どうもありがとうございました。</p> <p style="text-align: right;">以上</p>
-----	---